



鶴雅ホールディングス株式会社 常務取締役
鶴雅観光開発株式会社 取締役社長

山田 勝晴

KATSU HARU YAMADA

❖ 鶴雅グループ70周年の瞬間に立ち会えて

鶴雅のおもてなしを、

道央圏でアピール

支笏湖の「水の謠」オープンから鶴雅

の一員になり16年目を迎えさせていた
いております。この10年を振り返りま
すと、平成30年に北海道全体が闇と化
した胆振東部地震や世界的なパンデミ
ックとなった新型コロナウイルス感染症な
どの困難を体験し、誰もが先行き不
透明である中、次の時代を見据えた経
営トップの強いリーダーシップにより攻
めの手を緩めずに挑戦することがで
き、70周年の節目を皆様と一緒に迎
えることができました。私としても非常
に勉強になりましたし、人生の宝物と考
えております。

鶴雅観光開発株式会社は主に道央
圏で事業展開をしております。鶴雅の
魅力とおもてなしを立地的に優位な道
央圏で体感し、道央圏にリビートして
いただく戦略を進めてきました。今後、更
なるハード面の上質化を図るとともに、

ソフト面でもそれぞれの地域でできるア

ドベンチャーリズム（AT）の発信を
していきます。いま支笏湖に3施設目と
なる新たな計画が進んでいます。構想
中の「支笏湖ヴィレッジ」を地元と一体と
なつて実現し、同地区が豊かになること
で地域貢献となり観光振興に繋がるよ
うな町づくりに力を入れています。

コロナが開けてからは、職業の選択が
多様化してきてなかなか人材が定着し
ないという問題が出てきています。人事
施策とか賃金テーブルを始め目標
管理や人事考課、エンゲージメント向上
などの福利厚生や諸制度も見直すタ
イミングにきております。外国人材も含
めた社員教育などさまざまな改革を
進め、宿泊業で働くことへのやりがいや
魅力をきちんと発信し、再び人気の職
業へと復活するように取り組み、次の80
年へと繋いでいきます。